

令和 4 年6月27日

第 11 回定時 JARL 社員総会に参加して

佐々木 朗 JH8CBH

6月27日、東京で開催されました社員総会に皆様の代表として参加しましたので、その報告をさせていただきます。まず、総会の案内文書では、「参加を控えるように」ということでしたが、ほとんどの社員は参加をしておりました。127 名が実際の参加、委任状が数名でした。合計 132 名の議決権のある社員で総会は開かれました。

私は、令和 3 年度の事業、予算の承認、理事の承認について、全て、賛成に手を挙げました。

北海道からは、後藤支部長、岡田支部長、竹内支部長、高木社員、斎藤社員、原田社員、正村本部長、原理事が参加しておりました。正村本部長と原理事以外は席が近かったので、たくさんおしゃべりもしました。

1 私の準備書面について

準備書面は23人から出ていました。北海道からは、斎藤さんと私の2つでした。それぞれ議案書に書かれている順に議事が進んだわけですが、私が皆様の代表として提出した質問にも結構答えてくれたところがありますので、そこを最初にお話します。

(1)「できるだけ出席を控えるようにという表現について」

本音は集まってほしいということだったが、事務局でも表現について、随分悩んだが、コロナでもあるのでこのような表現になってしまった。(会長)

(2)ZOOM の中継について

技術的になかなか難しい(専務理事)
私は意見を言いました。「北海道で昨年ハムフェアに変わる事業として ZOOM を使ったイベントをやりましたが、100名以上ぶら下がっても大丈夫でした。技術的



には可能だと思います。」

(3)これからスタートする人が集まる総会にしてほしい。

この件は、気持ちがすごくわかるが、任期の関係、法律上のスケジュールからなかなか難しい(専務理事)

(3)QSLのこと

確かに遅れているのは事実である。JARLビューローにも改善を申し入れている。現状として、お子さんがいる主婦の方も多く、特別シフトなどを敷き、遅れている現状がある。また、会員の皆様においても、会員を確かめて出す、選んで出すなど配慮をお願いしたい。

私は言いました。「コンテスト委員会やアワード委員会からは、QSLの発行を控える、またQSLがなくても有効とするなどは言いにくいということであるが、そこが上に立つ者のリーダーシップだと思います。私自身たくさんのカードが来ますが、パソコンでただ打ち出しただけそれも同じバンド同じモードではあまり嬉しさを感じないのも事実です。それと、JARLのQSLの電子化ですが、普段交信をしていて、JARLので開発する電子QSLについて、「いつになるんでしょう。」みたいな声は一度も聞いたことがありません。現在交信している25～30%ぐらいは、ハムログQSLで、その中でどうしても紙という人はあまりいません。ここは総会ですので、いっそのこと、「JARLはハムログQSLをJARLとして応援します。」って言ってしまいませんか。(ここで拍手もらう)それと、非会員あてですが、免許状ゲッツみたく、JARLサーバーと連携して非会員であれば、自動的にQSLの欄にNが入るように

したら無駄が少なくなると思います(ここでも拍手)。人の心に訴えることも大切ですが、技術的に可能なことはやっていくことも大切だとおもいます。」

(4)理事の承認について

15名の理事と2名の幹事について、承認を行うということです。結論として、現専務理事だけが承認されませんでした。

ここで、思いました。そうか、2年前、私が、選挙で受かっているのに総会で落とすって言うのはおかしくないですか。と言ったのはこのことなのか。と

でも思いました。選挙で受かった人を総会でダメだというのは確におかしいと今でも思います。ですから、私は全員信任に手を挙げました。

でも思ったのです。この選挙に先立って、私は調べました。「この人たち、本当に無線が好きなの。」それで、私との交信歴を調べました。ほとんどの人が、交信したことがない、また、遠い昔一度交信していたみたい感じでした。よく交信するのは高尾会長ぐらいです。だから、私は質問に書いたのです。アマチュア無線でどのぐらいがんばっているかを教えてください。と

当日配られたプロフィール、名前、コール、生年月日、学歴、仕事、無線での活躍です。無線での活躍はいいですよ。なんだか本部長とか、なんだか実行委員会委員長とかは、わかります。あとは、なんだか大学大学院修了、なんだか会社

経営みたいな感じです。

これも手を挙げて質問してしまいました。「専務理事さんから説明があったように、理事は、JARLの代表としてそのかじ取りをします。また、幹事はJARLがきちんとやっているかしっかり監督します。この方たちにJARLを委ねるところが大きいわけです。しかし、私達のほとんどは、候補者の方を知りません、判断の材料が、学歴や職業、ライセンスではないんです。ここはアマチュア無線が好きな方が集まる集いです。ですから、大学を出ていなくたっていいんです。四アマだっているんです。どれだけアマチュア無線が好きか、アマチュア無線に対して、どんな思いをもって、どんなJARLを作っていくとするか、そういうところを聞いたかったです。(ちょっと拍手あったかな)なぜ、そのへんを記載していただけなかったのでしょうか。

またさっきから話を聞いていましたが、総務省からも大切なことでJARLに声がかからなかった、会計事務所からも手を切られてしまったという話がありました。専務理事さんは、長いことJARLの運営に関わって来て、すごく経営者として立派な方だと思います。でも一アマチュア無線家としての無線に対する気持ちももしかして遠のいてしまっているのではないのでしょうか。そのことがもしかしたら他団体から、つっけんどんな態度をとられてしまうことにつながっているのではないのでしょうか。」

専務理事さん、「私もたまに山に登って移動運用しております。」と答えてくれま

した。どれだけお出になっているのかわかりませんが、その回答には、嬉しく思いました。

他にも私の考えと似た方の発言がいくつかありました。

(5) 職員の給与について

都内の中小企業の平均よりも少し少ない位です。専務理事の報酬について、別に記載しておりますので、そちらで確かめてください(どこに書いているか見つけた方教えてください)

(6) 支部費の傾斜配分について

がんばっている支部の傾斜配分など、各支部の支部費については、それぞれの地方本部に委ねているので、地方本部で話し合っ決めてほしい。(専務理事)

(7) JARLの外へのPRについて

この件、今後も大切な事業として、外部へのPRを大切にしていく。(専務理事)

(8) ライフメンバーについて

お手紙が戻って来る、回答がもらえないなど中途半端になっているライフメンバーについては、経費はかかっているが、このまま野放しにしておけないので、対応をとっていく。(専務理事)

(8) 支部長研修会について

これ発言しました。「これも総会と同じで、ZOOMによる研修が可能であること

から、いい実践を発表するなど、取り組んでほしい。」

「いいことだがなかなか難しい」(専務理事)

(9) 資格に合った無線機を使うこと

だいぶ昔になったが保証認定で誓約書を書いてもらっていた。それは廃止になった。販売店にも問題があることがあるので、規制を考えていきたい。(専務理事)

(10) 430の違法局について

総通としても、取り締まりをしても、多くの方がアマチュア無線の免許を持っているという現状がある。コールサインを言うことを今後もしっかりPRしていきたい。(専務理事)

(11) 5メガについて

国際的な周波数の割り当てに照らすと難しい所であるが、7メガと3.5メガの間の飛びということ、いくらかでも周波数がとれるよう努力していきたい。(専務理事)

(12) 包括免許について

これも、総合通信局に毎回要望していることである。(専務理事)

ということで、私の書面だけではありませんが、結構細かく聞いたことについては、満足いく結果かどうかということはちょっとおいておいても、ちゃんと答えてくれたと思います。初めて参加する総会で、発言権などないものかと思っていましたが、手を挙げたらちゃんと当ててくれました。2度ほど、マイクの前に立たせていただきました。

人がいっぱいいても、言いたいことがあ

ると手を挙げてしまう性格は、特にはよくて、時には悪いのですが、自分としては、的を得た質問や意見だと思いますし、拍手ももらったりして、しゃべって良かったかなあと思っています。やっぱり支部の代表として参加しているという自覚はすごくありました。

2 その他 順番は思いつくままですが。

(1) お金について

あと8億円ぐらいあって、取り崩しはだいぶ改善されている。収支報告では、若干赤字位がちょうどいいという説明がありました。資産運用もいろいろやっているようです。また、会計については2日間で、会計の専門家に見てもらっているようですが、2日で、何万円の食事代みたいな領収書が本当に妥当なのかどうかなどまでのチェックはできそうもないようです。

(2) 選挙公報について

みんなに配るのをやめたそうです。その代わりに、希望者には郵送したそうです。5万人の有権者がいて、送ったのは12名だそうです。これこそ、JARLの代表を決める情報なのだから、もつと大切にしなければならないのではないかと思います。

(3) 海外へのQSLについて

コロナで、現在コロナで送れない国もある。また船便に切り替えて送っているところもある。

(4) 支部費の決算報告の公開は必要かならずしも公開を求めるものではない。それぞれの支部の対応でよい。渡島檜山支部は全部公開しましたよ。

(5) QSLの発送区分について
郵便で 25gまでが 3 万通。50gまで、100g
までが 2 万通、150g、250g、500gまでが
それぞれ 1 万通、あと、1g、2 kg、4 kgな
どで 800 通ぐらいである。
引き続き現会社をお願いしていく

6 全体を通して

アマチュア無線が大好きな人の集まり、
「にぎやかで笑顔で楽しく」ありたいなあ
と思っていたが、予想は少ししていたが、
ちょっと厳しい雰囲気があった。

とくにお金のことはなかなか厳しいなあ
と思った。理事会での話し合いが大きい
と思うが、その理事会。どれだけ本当に
アマチュア無線が好きな人なのかなとい
う疑問が残る。アクティブな人、アクティ
ブでない人、インターネットを使える人、
使えない人、年齢もばらばら、それでも
アマチュア無線大好きという会員の声を
以下に吸い上げているかということが大
切なところかなあと思う。

外部団体でも「なんかJARLと連絡取り
づらい」みたいなのが聞いていて感じ
た。正常化プロジェクトの山内さんともご
挨拶をしたが、やっぱりJARLとして、もっ
と心を開いていく必要があるのかなあ
と思った。特別無理な主張はしていない
と思う。

JARL の理事についても、よくわからな
いでいうのも無責任かもしれませんが、
「親藩大名」で固めているようであれば駄
目だと思う。譜代大名あり、外様大名あり
で、いろんな角度の意見を聞いて、その
方向性を示していくことが大切だと思っ
た。

また、議長不信任案が一度出た。議長
が会員から手が上がっているにもかかわらず、
議事を打ち切ったことに対する緊急動議
であった。私は、議長には、限られ
た時間の中で議事を進行することも大
切として、議長不信任は否決に手を挙げ
た。

新参者の私でしたが、だいぶ専務理事
さんに突っ込みの質問をしてしまいま
した。後悔はしていませんが、ちょっと出
しゃばったかなあと反省もしました。総会
後何人かの方が私の所に、「よく話してく
れました。」みたいに来てくれて、気持ち
が少しホッとしました。

ということで、最初で最後のJARL総会
の様子でした。

帰りの新幹線で書きました。上野から



書き始めて、青森県に入りました。以上
で総会の概略の報告おしまいです。

佐々木 朗 JH8CBH